

授業科目	保育実習指導Ⅲ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH31603J		
開講年次	2	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	篠木 賢一、笠 修彰、池田 佐輪子							
授業概要	保育所実習 2 に臨むための必要な知識・技術を習得することを目的とする。事前指導としては、学内での講義や実務家教員によるグループワークなどを用いた演習などを通して、保育所実習 2 の意義・目的・内容・方法について理解し、実習課題を明確化する。また、実習記録の書き方、実習に関する事務手続きの方法についても説明する。事後指導としては、実習のふりかえりを通して、自己評価を行い、実習での体験を深める。なお、保育所実習 2 を実施するためには、保育実習指導 2 への出席を必須条件とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習 2 の意義・目的・内容について説明できる。 2. 保育所実習 2 に対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 3. 保育所における保育士の役割について説明できる。 4. 保育所実習 2 において求められる基本的な保育技術を実践することができる。 5. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にできる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	70	30	100	
知識・理解 (DP1-1)					7	3	10	
知識・理解 (DP1-2)					7	3	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					7	3	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					7	3	10	
関心・意欲 (DP3-2)					7	3	10	
態度(DP4-1)					7	3	10	
態度(DP4-2)					7	3	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					7	3	10	
技能・表現 (DP5-2)					7	3	10	
技能・表現 (DP5-3)					7	3	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習 2 の意義・目的・内容について自分の言葉で説明できる。 2. 保育所実習 2 に対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 3. 保育所実習 2 において求められる基本的な保育技術を実習場面で場に適した態度で実践することができる。 4. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にし、自分の言葉で説明できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習 2 の意義・目的・内容について講義内容にそって説明できる。 2. 保育所実習 2 に対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 3. 保育所実習 2 において求められる基本的な保育技術を考え説明することができる。 4. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にできる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション・保育所実習1の振り返り(命婦・篠木・笠・池田) 授業の進め方について 保育所実習1の振り返り 教材作成についての説明	講義 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
2	施設の理解(命婦) 施設実習の実習先施設について、視聴覚教材を用いて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
3	施設実習のねらいと内容・実習の流れ(笠) 施設実習のねらいと実習の流れについての学習をおこなう。	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
4	それぞれの実習施設について(笠) 各自の実習施設について調べて、オリエンテーションに向けての準備を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
5	児童福祉施設の現場から1:外部講師(笠・命婦) 児童養護施設の職員から現場での保育士の職務と実習生としての心構えを講義してもらう	講義・演習 外部講師 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
6	児童福祉施設の現場から2:外部講師(笠・命婦) 児童養護施設の職員から現場での保育士の職務と実習生としての心構えを講義してもらう	講義・演習 外部講師 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
7	施設実習の指導案作成(命婦) それぞれの実習施設に合わせた設定保育の方法や指導案の書き方について学ぶ	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
8	施設実習の記録の書き方(笠) 施設実習に特徴的な記録の書き方について開設し、演習を用いて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
9	施設実習の自己課題(笠) 施設実習の実施に向けて自己課題を設定する	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
10	教材発表 施設実習に向けて作成した教材を用いて模擬保育を行う	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
11	施設実習の直前指導 実習中の連絡などについて指導を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
12	施設実習のふりかえり(笠・命婦) 施設実習1・2についてグループワークを用いながら、詳細にふりかえる	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
13	報告会の進め方について(命婦・篠木・笠・池田) 報告会の進め方について説明し、グループごとに準備を進める	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
14	保育実習の個別のふりかえりと報告会準備(命婦・篠木・笠・池田) これまでの実習について個別のふりかえりを実施すると同時に、グループごとに報告会の準備を行う	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
15	実習報告会のリハーサル(命婦・篠木・笠・池田) 報告会のリハーサルを行う	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
16	実習報告会(命婦・篠木・笠・池田) 実習での学びについて、1年生からの質疑を受けながら理解を深める	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15

17	保育士証の登録について(命婦・篠木・笠・池田) 保育士証の登録手続きについて解説を行う	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	講義内容で不明な点は教科 書などを用いて確認する。	15
18	保育実習指導のまとめ(命婦・篠木・笠・池田) これまでの保育実習指導および保育実習での学びに ついてまとめる	講義・演習 保育実習指導Ⅱと 合同	これまでの授業内容をふりか える	30
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	保育実習指導 1 において実習に臨むための以下のような基本的な姿勢、必要な知識を学んでおくことが望ましい。 基本的なマナーとコミュニケーションスキルを身につけること。保育所での協働について理解を深め、実習生としての役割を理解していること。			
テキスト	保育実習指導1と同じ			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	長島和代 2014 保育のマナーと言葉 わかば社			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	保育者としての自分の姿は子どもたちの健やかな発達にいい影響を与えることができるかどうか振り返って みてください。			
達成度評価に関す るコメント/課題に 対するフィードバッ クの方法	各種課題の記述内容、実習の目標・課題等の設定、自己評価、提出物の提出状況を評価対象とします。提出 の遅延は大きく減点し、未提出は実習不可としますので留意してください。成績評価の内その他 30%は、受 講態度や授業中のマナーを実習に参加するために必要な準備ととらえ評価対象とします。 学外での実習に臨む準備ができているかどうかを総合的に評価します。			

